

波紋

No. 303号

平成22年09月

2010 Sep.

「文紙メッセ2010出展！」

(8/2(月)～3(火) マイドームおおさかにて)

去る8月2日、初めて展示会出展の経験をさせて頂く機会がありました。初日は一般公開の影響もあり商社、卸問屋をはじめとする家族連れの人々で会場内には様々な人々が往来する中、私は輸入商品の担当をさせて頂きました。一般消費者から思わぬ質問や、臨機応変な対応を求められる意味では大変勉強になりました。今回の貴重な経験を今後に活かし、成績をもって会社へ貢献したいと思っております。

小原龍一(営業部)



「文紙メッセに出展」

社長 森 直樹



森松産業より、マイドーム大阪にて開催された「文紙メッセ2010」に出展しました。森松産業ブースでは静電文具、PPファイル、デスクマット、プラスチックグローブを展示。私が展示物の搬入から陳列まで行いましたが、展示会出展の経験がほとんど無いため、ブースの装飾では商品の配列から見せ方まで実地で試行錯誤し、なんとか見られる形に。商品に関しては一見してどういった物であるか解るような陳列がベストですが、説明を付けてもなかなか読んでも貰えない場合もあります。単純なことですが、初めてこの商品を見る側の視点で考えるということが重要ということです。

二日間の出展を通して、やはり来場者の方に、いかに足を止めて商品を見てもらうためには、ということを考えてつつブースに立ちました。ほんの僅かな違いでも、商品自体の独自性が無ければ目に止まることはほとんど無いということ、またそれを目に引くような展示で見せるということです。

一般の消費者の方からも突っ込んだ質問を受け、大変勉強になりました。的確に質問に答えられるための知識を、自分が持っているかどうか改めて確認出来ました。一緒に参加した営業の若手、小原さんも一日の多種多様な来客を通して、説明の技術が上がった事と思います。

今回の展示会においては準備不足な点はありましたが、この経験をもとに今後も森松産業はメーカーとしてプラスチックフィルム、シートの情報を活かし、これに関連した商品企画、そして商品開発で光る物、他社にはない特徴の有る製品を出して行きます。

「高校野球」

黒松 康郎（東京オフィス）



今年のお盆休みは、息子と娘と一緒に甲子園に3回足を運びました。高校野球です。天理高校の3番バッターであった中村君が、息子のチーム出身であったので応援に行ったのが8月12日。報徳学園の応援に行ったのが終戦記念日の8月15日。前日は中京大中京が大差で早稲田に敗れたという試合の次の日でした。とにかく14・15日はたいへんな混雑だったようです。甲子園のチケット売り場は、駅まで行列。私たちは無料の外野席の一番見やすい所に座りましたが、周りには1席も余裕がない状態でした。座れないで帰っていく人もたくさんいた。8月16日は、娘を西宮の塾に迎えに行つてそのまま甲子園に行ったのが、鹿児島実業と九州学院の試合開始前。この試合はもつれた。最終回到3点差を追いついて同点にした鹿児島であったが、延長戦の末敗れた。私は九州の出身でもないのに応援してしまう。高校野球はなぜこんなに人気があるのかな。「郷土愛」出身地の応援をしてしまう。「一回性」負けたら終わり、その中で生まれるひたむきな姿勢、絶対に諦めない。そして、笑顔と涙があります。野球の根本がここにあると思う。何点差があっても諦めないから、ドラマが起きます。

作新の江川、南陽の津田、中村の山沖、東海大相模の原、浪商の香川・牛島、星陵の小松、愛工大の工藤、早稲田の荒木、池田の水野、PLの清原・桑田、横浜の松坂、星陵の松井、東北のダルビッシュ有、早稲田の斎藤、駒大苫小牧の田中、このあたりの選手はすごかった。記憶に残っている。プロにも行つても相当活躍している。プロの中には甲子園に出なくても活躍している選手は多いが、甲子園を経験した選手は運もあるし、なにかを持っているのだろうと思う。息子にはここまで期待しないが、甲子園はこれから日本がどんな時代になっても、おじさん、おばさんに感動を与えて、子供に夢を持たせあげてほしいです。「あとひとつ」ファンモンの歌も今年は盛り上げたなあ。諦めないでがんばりましょうか。

「国の借金」

成瀬 勝英（製造部）



以前から取り立たされている国の借金問題で、遂に900兆円を超えたとの報道がありました。建国以来2度目の財政破綻危機。1度目は太平洋戦争終結時に国家が背負った賠償や戦費の膨大な借金が有りました。今回の借金はそれに並ぶ額だそうです。気になるのは、1度目に行なった国の解決事例ですが、通貨単位の切り上げ（デノミ）と個人預貯金への、課税による没収でした。課税金額は最大90%というもので、通貨の価値は紙切れ同然になり、物と物との交換が通例になったとの事です。現在の国民総人口1億2千8百万人、1人当たりの借金が700万円を超える異常事態に最も有効な政策とは何かと、議論がされているようですが、真つ先に浮かぶのが消費税の増額ですね。しかし世論は消費に歯止めが掛かる事を懸念しています。1990年以降20年の余、経済成長率が0%。先進国では唯一、デフレの進行が深刻になっている国なのです。そこで新たに検討されている税が、貯蓄税なるもの。一定額を超える貯金者に最大20%程の税金を掛け徴収しよう。というもの。これには2次の要素も加わり、つまり貯金しても税金で盗られるなら使ったほうが・・・と考えるのでは？経済効果も期待出来るというのです。何と安易な事でしょう。国はいざとなると、とても無い事でも実行する権限があるという事を知っておきましょう。これを国家緊急権と言うのなら、それはもう民主主義とは言えない国家権力主義ですね。いつかは宝くじに当たって高額預金者になり、引かれる算段をするのは、夢が半減してしまう。当ればですが・・・

第18回元気が出る森松展

【テーマ】

今こそログイン ～確かな材料が名古屋に集合～

【開催日時】

2010年10月14日(木) 9:00 ～ 17:00
15日(金) 9:00 ～ 17:00

【会場】

森松株式会社 本社ビル5階

〈講演会のご案内〉

10月14日(木) 14:00～

「塩ビを巡る最近の動向」

講演者：一色 実（塩ビ工業・環境協会広報部長）

10月15日(金) 14:00～

「静電気対策の基礎知識」

講演者：井上 晋介主査（アキレス株式会社 工業資材販売部）



読 後 感

“伝説のプラモ屋”

著者 田宮俊作

タミヤ模型2代目社長が書いた著書です。我々の世代はプラ模型を子供のころ良く作ったものでした。中々、普段のお小遣いでは買えなかったもので、お正月にお年玉を貰うと、そのお金を持ってプラモ屋へ良く行ったものでした。確か本編に出てくる、ホンダのF1モデル1/12を買い、苦労して作った覚えがあります。また、国民の1人が買ったことになるほどブームになったミニ四駆の時には、子供にかこつけて作ったものでした。ミニ四駆を走らせるコースもつい買ってしまいました。木工模型からプラ模型への移行時の資金繰りの大変な時期の苦労話。ご存知のようにプラスチック成形品の金型代の莫大な先行投資が必要なため、ハイリスクです。そんな時代の社長としての決断の大きさが書かれています。また、企業は人なりと言いますが、タミヤ模型の発展に貢献した、人々たちとの出会いなどのエピソードなども書かれています。大変興味深く読むことができました。彼らの共通することは、みんなプラ模型が好き人たちばかりだと言うことです。

伊藤 雅典(製造部)



9月の予定

4日(土)	第1土曜日休み
8日(水)	志水満さん誕生日
11日(土)	第2土曜日休み
14日(火)	安井浩二さん誕生日
18日(土)	第3土曜日休み
20日(月)	敬老の日
23日(木)	秋分の日
24日(金)	生産会議 CS向上会議 経営会議
	12時～13時 14時10分～15時 15時10分～16時



「ソフトボール」

西垣 浩司(製造部)



7月末に息子が猛暑の中、町内会のソフトボール大会に出場して優勝しました。優勝に向けて毎週日曜日に練習を行い、全員が体調管理に気をつけて練習を行ったことで勝ち取った優勝だったと思います。家内も一緒に練習に参加していましたので、大変だったと思います。

8月末に区大会に出場する為、休日には息子とキャッチボールやノック、守備練習などを公園で行ってきました。息子には「元気良くプレイをしてもらえばいい」と想いながら、私にとっても運動不足が解消され良い汗をかいています。

息子がこの大会で少し成長をしたのではないかと、感じるこの頃です。学校でも部活動があるので、この機会にスポーツ系の部活動に参加して欲しいと思っています。



「蚊」

松井 宣和(製造部)



毎年、蚊の攻撃に遭います。自宅マンション一階に住んでいる私は、山崎川の土手の横にあり土手の高さは2メートルぐらいあります。雑草が我が物顔で伸び放題です。数々の昆虫が部屋の中に進入してきます。この時期は、蚊が多くて刺されたくはないので注意が必要ですが、今年は猛暑のため蚊が少なくなかんじます。いないぐらいです。

蚊について調べてみると蚊の幼虫(ボウフラ)が発生する水たまり(下水溝・空き缶・古タイヤ・植木のマスなど)が猛暑で干上がり、羽化する前に死んでしまうそうです。猛暑でも、定期的に降水量があれば生きられますが水がないと、干上がるだけです。ので幼虫(ボウフラ)が死ぬそうです。卵は2～5日で幼虫(ボウフラ)に次に7～10日でサナギに3日ほどで成虫になるそうです。蚊は、気温が上がると吸血を始め、25～30度まで上昇するときに吸血活動が活発化されるそうです。成虫になってブンブン飛び回るまゝに對抗処置として雨水をためないように努めたいです。

